

庭の真相を本人は知らないが肌でかきわけている様子。頭は空っぽだが、男眼を引く言動。この子の場合には教育相談や専門医の暖かい手で脳波の異常も発見され、心身とも多方面の支えによって一人立ちしました。

「男女の交際」よく討議の題材になります。異性への関心がないといったら嘘でしょう。それが変に照れたり反発したり表現にもなる年令。例えば一時間思いっきりのドッジボールなどすると、「失礼／＼」といって男子が遠慮会釈なく女子にぶついたりする中から親近感や当り前の会話ができますし、仕事は男女グループですと自然に協力の姿になるし、来学期はだれと組むかナーとほのかなお目当てに胸がうづいたりする様です。半大人の彼ら — 理屈は半分解りかけ行動力は二倍もあるアンバランスを秘め — にいつも私は「友だち」の大切さを話します。事実仲間意識が強く事の善悪より大人に対する自衛で団結するほどですが、まだ自我や個性を認めて付き合うに至らない。その未熟さもやがて生涯の友さえ得る時期なのですから。よく中学校はよかったといわれる時「今頃になって／＼」といいながら、「それはナンセンスの面白さでしょ」とつけ加えます。つまり種々様々の友だちがありバカげた事のある良さ。仲々社会ではむき出しては付き合えません。こういった各個人生活が土台にあつての学習ですから、今の教育制度にはボッカリ穴が空いている様です。まるで規格品の製造になっていないでしょうかと訴えたいのです。

さて最後に「ミセス先生」は？決して肩ひじ張らぬ事ですね。女がヒステリックになってはと意識してあまり怒らぬ方ですが、ある時すごく雷を落しましたら、彼ら驚ろいて一週間しょげて反省したようです。先生の気迫と想つた由で、時には感情をぶつけることも人間らしさだと痛感です。帰宅したら学校のがの字も忘れて、草花を楽しみ果実酒に熱を入れ、長休みはおろか堂々と休暇をもらって旅に出るという暮しもどこかで人間臭く役立ってる様です。そして忙しさにまぎれナリフリかまわずは絶対禁物。「先生今日のセーターかっこいいね」「一段とお若い」なんて一年坊主でも云います。もっとも三年生なら「たゞしセーターがね」と加えるに違いありませんが一年生だから「ごまするナァ」なんてお互いが人をサカナに騒ぐ位です。若く美しく — という彼らの期待から程遠い私も、彼らの成長に魅せられ腹立たしさもクロッと忘れて奮戦という事でしょうか。また楽しからずや。

高校地理教育談話会編「地理資料」について

小 池 と み 子

「そこらに生えている草や灌木は、あまり濃くはないが、一応緑色をしている。枯れたのもあるが、多年生のはまさしく緑草である。だが、これにマッチで火をつけると、パチパチ音をたて

て燃え上がる。枯草でなくてもたいの植物はそのままタキツケだ。

アルコールやエーテルを手などにつけると、とたんに蒸発して涼しく感じることは、だれしも経験があるだろう。ここでは水をつけただけで、あれと同じ状態になる。」

御存知の方も多いかと思います。朝日新聞に連載された「アラビア遊牧民」の一説です。

こんな文章をあつめて世界の気候を説明したらどうだろう。私たちの大部分が一生実感としては感じる事のない世界各地の気候を少しでも活き活きと理解させるために……

「地理資料」高校地理教育談話会編はそんな願いをこめて生まれました。きょうはこの資料集の紹介をしたいと思います。

統計資料集といえば、各出版社からいろいろなものが出ていますし、教科書の終りにも何かしかついていますから、何もわざわざとお考えのむきも多いかと思います。ところがこれはそれらとは少し趣きを異にしています。

最初は、教師たちが、教科書にない新しい資料、各国の地域別の現状などをそれぞれが版で刷って授業をしていたわけですが、お互いの手間をはぶき、有効に利用しようということになって共同で印刷することになったのです。それからもう三年、内容も体裁も年を過るごとに立派なものになってきました。現在はまだ注文だけ刷るというプライベートな発行物ですが、来年あたり出版社を通して市販する話も出ています。

さて内容にたち入ってみましょう。気候のところはさきにあげたように、いろんな紀行文からぬいた代表的な気候区の描写です。出典は、伊谷純一郎「ゴリラとビッグミーの森」特派員からの手紙（朝日ジャーナル）、シーグフリート「民族の心」とバラエティに富んでいます。

ソ連の農業の項はどうでしょう。農産物の生産高、農地所有（革命前と後）、農業の機械化の変遷、農業制度（ソフホーズ、コルホーズ、MTSの数の変化、コルホーズ加入農家数etc — いずれも1918～64まで—）、そしてNHK特別取材班「世界の農村」からぬいた「かあちゃん農業」、ソビエト版の記事がならんでいます。

鉄鋼業についても、石油産業についても同様にくわしい資料がのせられています。

これだけの資料を限られた時間の中で使いこなすことはなかなか困難なことです。その点ではこの資料集はまだまだ荒けずりで、これからもっと精選されねばならないでしょう。でも現在集められるもっともホットな資料をくまなく集めた編者たちの努力のなかに、よりよい地理の授業を模索している姿勢をみることが出来ると思うのです。

私がこの仕事に加わったのは最近ですが、これだけのレベルの資料を捜すことは、新しいところ1年か2年加えるのも大変な努力であることを知りました。このような仕事に加わってみんなと一緒に努力することで、私なりの地理の授業がよりよくなっていけばと願っています。

数多い先輩教師方の御批判をお待ちする次第です。